

## 平成29年度学校経営方針

### 1 教育目標

#### (1) 学校教育目標

進んで学習する生徒  
人の気持ちがわかる生徒  
自ら体を鍛える生徒

##### ○進んで学習する生徒

- ・自らの将来を描くことができる学びをさせる。
- ・学習のねらいをはっきりさせ、しっかり学ばせる。
- ・家庭学習の習慣化をはかる。

##### ○人の気持ちがわかる生徒

- ・生徒同士、教師と生徒、家庭、地域等、多様な関わりの中で社会性・協調性・規範意識を育てる。

##### ○自ら体を鍛える生徒

- ・基本的な生活習慣を確立させ、健康な体をつくる。
- ・運動に親しみ、生涯にわたって必要な体力を身につけさせる。

#### (2) 目指す学校像

生徒一人一人を伸ばす あたたかい学校

#### (3) 目指す生徒像

さわやかではつらつとした五中生

#### (4) 教育目標を達成するための教師像

- ・一人一人の生徒を大切に、情熱と使命感をもって指導できる。
- ・調和と協調に基づき、教師としての個性を創造的に発揮している。
- ・授業を通して生きる力をはぐくむことができる。

#### (5) 校長の基本方針

- ・生徒が行きたいと思える学校をつくります。
- ・保護者が喜んで集まる学校をつくります。
- ・教職員がいきいきとしている学校をつくります。

職務の違いや、年齢・経験、一人一人の個性を尊重しあい、教職員一人一人が専門職としての誇りややりがいを持てる学校をつくります。

### 2 本年度の基本方針

#### (1) 進んで学習する生徒（学力向上）

##### ①基礎学力の確実な定着

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、課題を解決するための思考

力、判断力、表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度を養う。

「主体的・対話的で深い学び」の実現という視点をもって、生徒達の変化等を踏まえつつ、指導方法を不断に見直す。

②学習指導の徹底

学力不振の生徒への対応と、根気強く丁寧な指導、あきらめない指導の推進に努める。

③家庭学習の習慣づけ

学習ノートの取組や課題の提示など、家庭との連携の下、家庭での学習習慣を定着させる。

(2) 人の気持ちがわかる生徒（豊かな心）

①教育相談の充実

不登校、不登校傾向にある生徒たちとの好ましい関わりを進め、登校意欲を持たせる。

特別な配慮を要する生徒の実態を正しくとらえ、それぞれの指導方針を全教職員で共有して指導に取り組む。

②生活規範の醸成

社会的な資質を育むための基礎基本ともいえる「学校生活規範」を確かなものにする。

道徳教育の充実を推進する。

(3) 自ら体を鍛える生徒（体力向上・健康教育）

①体力の向上

授業や部活動等の諸活動を通して、生徒一人一人の体力向上に努める。

②健康的な生活習慣の育成

生活のリズム（早寝・早起き・朝ごはん）を身につけ、より健康的に生活しようとする態度を育成する。

③防災教育の推進

生徒一人一人の実態に応じ、非常災害時の対応や行動の仕方について理解させ、身につけさせる。

(4) 本年度の重点

校区小学校との一貫教育を見据えた連携、交流の一層の推進を図る。

(5) 教師の基本姿勢

①明るく快活に生徒と接しましょう。

②正しい言葉づかいで生徒と接しましょう。

③生徒とともに在る教師を目指しましょう。

教師の指針（四心）

生徒を包み込む	温かな心
生徒を認め支える	細やかな心
生徒に嘘偽りのない	誠実な心
生徒から学ぶ	謙虚な心